

2015年6月22日

報道関係者各位

株式会社協和企画

6年ぶりの改訂！！

『脳卒中治療ガイドライン 2015』 6月25日発売

株式会社協和企画（代表取締役社長：小西庸一、本社：東京都港区）は、6月25日より『脳卒中治療ガイドライン 2015』の販売を開始いたしますので、お知らせいたします。

【概要】

- ◎ **編 集：** 一般社団法人日本脳卒中学会 脳卒中ガイドライン委員会
小川 彰、出江紳一、片山泰朗、嘉山孝正、鈴木則宏
- ◎ **編集協力：** 一般財団法人国際医学情報センター（IMIC）
- ◎ **発 行：** 株式会社協和企画
- ◎ **I S B N：** 978-4-87794-169-7
- ◎ **定 価：** 本体 4,540 円＋税
- ◎ **体 裁：** A4 判、約 360 ページ、アジロ無線綴じ
- ◎ **改訂・変更のポイント：**

『脳卒中治療ガイドライン 2015』が、前回 2009 年の発行から、実に 6 年振りの大幅な改訂を実施し発売されます。脳卒中による死亡率は 1965 年をピークに減少していますが（厚生統計協会、国民衛生の動向、厚生指針 2001）、入院受療率は、がんの 1.5 倍、心臓病の 3.5 倍に上っています。罹患により入院治療を余儀なくされ、種々の症状が社会復帰を阻害する原因となり、「脳卒中」は極めて重要な国民病とも言える疾患です。

本書の改訂にあたり、一般社団法人日本脳卒中学会の中に脳卒中ガイドライン委員会を設けるとともに、日本脳神経外科学会、日本神経学会、日本神経治療学会、日本リハビリテーション医学会が本委員会に協力しております。執筆は脳卒中関連 5 学会 148 名の協力をいただき関連学会の総力を挙げて作成されました。

収載された論文は、キーワード検索 23,300 件、ハンドサーチ文献 200 件、合計 23,500 件が検索され、それを Oxford Centre for Evidence-Based Medicine (OCEBM) 2011 Levels of Evidence によりエビデンスレベルが分類されています。推奨グレードの分類も一部を改訂しました。

推奨する薬剤の表記は、「エビデンスレベルの高いものから並べ、同等の場合は副作用などを含めて総合的に判断し、さらに同等と判断される場合は日本国内での発売順に並べる」など、中立性を阻害する恣意的記述の排除に極力留意されています。さらに、今後は、新たな知見が次々と発表される現状を踏まえて委員会を継続し、1～2 年毎に小改訂を行う仕組みが検討されています。

※注文・予約は全国の医書取扱書店、また弊社ホームページにて受け付けております。

本リリースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社協和企画 〒105-8320 東京都港区虎ノ門 1-10-5 日土地虎ノ門ビル
担当：板井 TEL:03-6838-9221 e-mail:itai@kk-kyowa.co.jp